

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 小児集中治療室設備整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内3238)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,294 千円 (前年度予算額： 3,839 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,839	3,839	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,294	1,294	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本県における小児救急医療体制においては、初期救急として小児初期救急センター、二次救急として小児救急医療拠点病院、三次救急は小児集中治療室により対応している。

県知事が要請した病院の開設者が整備する小児集中治療室の設備整備に対する補助を行い、小児の重篤患者の適切な医療を確保する。

(2) 事業内容

小児集中治療室として必要な医療機器の更新等に係る経費を補助する。

小児集中治療室設備整備事業費補助金

補助先：岐阜県総合医療センター

整備内容：携帯型生体情報モニタ及び生体情報モニタの整備(重篤な小児患者についてベッドサイドにて容態のモニタリング及び管理を行うため。)

事業費：3,880千円

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助金（医療提供体制推進事業費補助金）の活用
補助率：1／3（国）

(4) 類似事業の有無

「救命救急センター設備整備費補助金」は小児集中治療室とは別に、救命救急センターの設備整備の補助を目的とした事業であり、小児救急に特化した本事業とは異なる。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,294	小児集中治療室の設備整備に対する補助金
合計	1,294	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画（第7期）

第3部－第2章－第10節小児医療対策－7今後の施策

『診療科領域を問わず、24時間体制で全ての小児重篤患者に専門的な医療を提供するため、小児集中治療室を有する医療機関に対し支援するとともに、各圏域でのPICUの整備を検討します。』

(2) 国・他県の状況

ほぼ全ての都道府県で実施されている。

(3) 後年度の財政負担

小児救急医療体制の安定的な運営の為、引き続き、支援していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

小児の二次救急医療体制の整備は、市町村域を超えて、より広域的に取り組むべきものであること、また、保健医療計画上も小児集中治療室の設備整備への支援を明記していることから、県が補助を行うことは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

小児に特化した三次救急医療体制確保のため、小児集中治療室の整備を実施する病院に対して補助を行うことにより、小児の重篤患者の適切な医療を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

医療機器の購入に対する補助のため、指標を設定することができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和3年度	<p>取組内容：小児集中治療室として必要な医療機器等の購入に対し補助。 （超音波診断装置、酸素飽和度測定装置、呼気終末二酸化炭素分圧測定セット）</p> <p>成果：補助を行うことで小児集中治療室の医療提供体制が確保された。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和4年度	<p>取組内容：小児集中治療室として必要な医療機器等の購入に対し補助。 （生体情報モニタ）</p> <p>成果：補助を行うことで小児集中治療室の医療提供体制が確保された。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	小児の三次救急医療体制の構築及び確保のために、必要な事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	指標となる数値が集計されていないため、有効性を判断できない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	事業実施主体において競争入札により経費を節減しており、効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後も引き続き、関係病院のニーズを把握し、小児の三次救急医療体制の充実を図ることが必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 小児集中治療室を設置する病院の要望に合わせ、設備整備に対する補助を行い、小児の三次救急医療体制を維持する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	